様式第７

中小企業信用保険法第２条第５項第７号の規定による認定申請書

令和　　年　　月　　日

小山市長　様

申請者
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第２条第５項第７号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

１　金融機関からの総借入金残高のうち、＿＿＿＿＿＿＿からの借入金残高の占める割合　＿＿＿＿％（Ａ／Ｂ）

Ａ　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日の＿＿＿＿＿＿＿からの借入金残高　＿＿＿＿＿＿＿円
Ｂ　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日の金融機関からの総借入金残高　＿＿＿＿＿＿＿円

２　＿＿＿＿＿＿＿からの借入金残高の減少率　＿＿＿＿％（(D-C)/D×100）

Ｃ　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日の＿＿＿＿＿＿＿からの借入金残高　＿＿＿＿＿＿＿円
Ｄ　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日（Ｃの前年同期を記入のこと）の＿＿＿＿＿＿＿からの借入金残高　＿＿＿＿＿＿＿円

３　金融機関からの総借入金残高の減少率　＿＿＿＿％（(F-E)/F×100）

Ｅ　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日の金融機関からの総借入金残高　＿＿＿＿＿＿＿円
Ｆ　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日（Ｅの前年同期を記入のこと）の金融機関からの総借入金残高　＿＿＿＿＿＿＿円

小商第　　号

令和　　年　　月　　日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

認定者名　小山市長　　浅　野　正　富

本認定書の有効期間：令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで

（留意事項）
①　本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
②　市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

確　認　書

中小企業信用保険法第２条の規定による認定申請に記載されている金融機関からの借入金残高は下記のとおりで相違ないことを確認致しました。

記

１．認定申請者　　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．金融機関からの借入金残高

借　入　先 （金融機関及び支店名）	本年度の借入金残高 年　　月　　日	前年度の借入金残高 年　　月　　日
	円	円
総借入金残高	円	円

備考　①　借入金残高には、手形割引の金額は含めません。

②　借入先が、この確認書の確認者（確認金融機関）に係るものの場合は、残高証明書の写しの添付を省略することができます。

令和　　年　　月　　日

確認者（金融機関名）

住　所

氏　名　　印